

これを自由放任なる現下の經濟機構に發し、資本家と謀略相通する  
既成政黨の體系に存することを。

然りと雖も、今やわが憂國の國民は、國難の根源を觀破し、神勅  
違反の資本家、財閥、政商、既成政黨の罪惡を把握し、民意は全然  
かれらと離反せしのみが、寧ろ憤激憎惡の頂點に達し、怒髮冠を衝  
くの慨あり、然るに民意を冷眼視する既成政黨は、依然政權の再來  
を夢想し、反民動向の常習ある財閥は、依然醜類の政黨と惡策し  
以つて理不盡なる現代經濟機構の保持に、狂奔燥慮の極を盡しあり  
今にしてこの反民經濟機構と、亡國既成政黨を、打破打倒するにあ  
らずんば、帝國大陸發展の大計も、國民生活苦の匡救も、百年河清  
を俟つに等しかるべし。

かるが故に經濟行政の權能を、かれらの手より恭しく闕下に奉  
還せしめ、以て國家中心に資本を統制運用し、日滿同一のブロック  
を形成し、以て本邦の生命線を有意義ならしめ、既成政黨を打倒し  
以て共存共榮の善政を扶翼することは、もはや國家の要望、國民の  
決意なりと斷ぜざるを得ず、かくして思想、經濟、政治の諸國難初  
めて匡救せられ、東亞大合同の對白人國防ここに充實し、大陸發展  
の強腰外交を斷行し得べし。

しかしてこれが實現の如何は、眞に愛國の至誠に燃へ、義に勇む  
國民大衆の努力如何による、斷じて行へば鬼神も避くこ、今や民意  
の嚮ふ所、正にその好期に逢著しあるも、いまだ大衆團結の據點を  
發見し得ざるにあり。ここに觀る所あり、敢て微力をも顧みず、乃  
ち愛國義勇軍を建設し、同志を弘く天下に求め、戮力協心以て刻下  
の國難打開に邁進せんことを、冀くは先憂の士舉つて本軍に加入せら  
れんことを。

## 愛國義勇軍

九州支部

福岡市平尾町七六ノ五

南方

日清戦争の國難に際しては、伊藤、藤、と剣、南方、  
相繼いで奮起し、建國の精神を傳へ、大衆を鼓舞し、  
今やこの國難に際しては、本軍の同志は、日清戦争の精神を繼承し、  
奮起し、同志を弘く天下に求め、戮力協心以て刻下の國難打開に邁進せんことを、冀くは先憂の士舉つて本軍に加入せられんことを。



愛國義勇軍主義綱領